

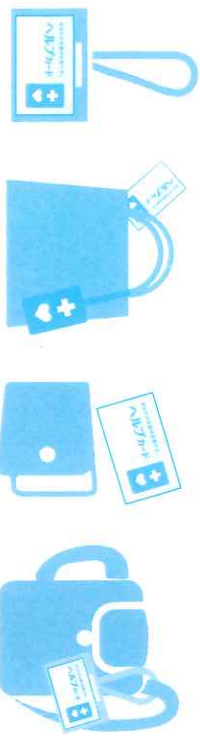
利用にあたって気をつけること

ヘルプカードには、いざという時にこのカードを見る人に、何を伝えたいのか、どのような支援をしてもらいたいのかを記載します。
重要な個人情報も含まれますので、取扱いや紛失などは十分注意してください。

ヘルプカードの携帯方法(例)

ヘルプカードの携帯方法は、障害種別、状況、利用の仕方などにより異なります。
持ち歩き方については、ご自身で、適切な方法になるよう工夫してください。

- 市販のカードホルダーに入れ、首からさげる。
- 障害者手帳などと一緒にケースに入れておく。
- 手帳や定期入れの中に入れる。
- お薬手帳と一緒に入れる。
- バッグの内側にカードホルダーをつける。
- バッグにはヘルプマークを下げ、ヘルプカードはバッグの中にしまっておく。



ヘルプカードを持ちましよう

あなたの支援が必要です。
ヘルプカード



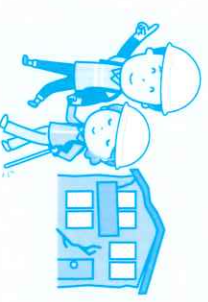
ヘルプカードとは...

「ちよっと手助けが必要な人」と「ちよっと手助けしたい人」を結びカードです。
障がいのある人が持ち歩くことにより、災害時や緊急時など、周囲のひとに手助けを求めたいときにヘルプカードを使い、手助けを求めることができます。

ヘルプカードはどんなときに役立ちます!

災害のとき

- 避難が発生したときに家族等に連絡してもらいたい
- 災害に伴う避難生活で適切に支援を受けたい



緊急のとき

- パニックや発作、病気のときに配慮してほしいことや常用している薬の情報を正確に伝えることができます



日常的に

- ちよっと助けしてほしいときに、ヘルプカードを提示することで、スムーズに支援を受けることができます



ヘルプカード記入例

このカードは必ずしもすべての欄に記入する必要はありません。
必要であると思う欄のみご記入ください。

あなたの支援が必要です。
ヘルプカード

①私のごと

名前 前 姓
住所
生年月日 年 月 日
血液型 R h + -

②緊急連絡先

名前 (総稱)
電話 (FAX)
名前 (総稱)
電話 (FAX)

③かかりつけの病院・医師

電話番号
電話番号
飲んでいる薬
障がい名・病名

表面

① 氏名・住所・生年月日

- このカードを使用する本人のことを記入してください。
- お名前にはふりがなをふってください。

② 緊急連絡先

- 連絡してほしい方をご記入ください。
- お名前にはふりがなをふってください。
- ご本人との関係や、連絡のとれる時間を書くと役にたちます。
- なお、連絡先は必ず相手方の了承を得てから記入してください。

③ かかりつけの病院・医師

- かかりつけの病院や医師名をご記入ください。
- ふだん飲んでいる薬や持っている薬、服薬の注意点がある場合にはご記入ください。

④ 障がい名・病名

- 分かりやすく記入してください。

裏面

⑤ 配慮してほしいこと

ペースメーカーを使用しています

人工透析をしています

ヘルプマークになります

() が不自由です

() 発作があります

() () レベルがあります

その他

⑤ 配慮してほしいこと

- まわりの人に配慮してほしいことで、あてはまるものはチェック項目の□を黒で塗りつぶしてください。
- () には詳しい内容をご記入ください。

⑥ お願いしたいこと

簡単な言葉で説明してください

筆談で伝えてください

書いてあることを音読してください

移動の際、介助してください

その他

⑥ お願いしたいこと

- 不自由なことやお願いした内容で、あてはまるものはチェック項目の□を黒で塗りつぶしてください。

⑦ 手助けが必要で、カードを開いてください。

発行 伊豆の国 0558-76-8007 小山 0550-76-6661
静岡 055-979-8127 豊橋 0550-82-4238
浜松 053-949-4542 三島 055-983-2812
東京 055-989-5512

現在の病状や本人の特性など、支援する方に伝えたいこと他にある場合にご記入ください。
【例】カビの中に詳しい情報が書いてあるノートが入っています
・体に触れることが苦手で